

お金が無いって本当？

市民のみなさんに
知ってもらいたい

これからの生活はどうなっていくの？

〇〇年後の西条市のために

財政状況を通して西条市の未来を考えよう

改訂版

もくじ

- 1 「財政」ってなに？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p2
- 2 予算と決算の違いはなに？・・・・・・・・・・・・・・・・ p2
- 3 歳入（収入）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p3
- 4 歳出（支出）性質別・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p4
- 5 歳出（支出）目的別・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p6
- 6 これまでの推移をみてみよう・・・・・・・・・・・・ p7
- 7 人口減少と一般財源・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p12
- 8 公共施設の現状と今後控えている大規模事業について・・・・ p13
- 9 持続可能な西条市を目指して・・・・・・・・・・・・ p16

令和5年11月 西条市 財務部 財政課

※本編の決算状況等については、全国統一ルールによる統計上の会計（普通会計）を使用しているため、一般会計決算と一部異なります。

ずっと住み続けたいまち、西条であるために

少子高齢化や市債（借金）の返済額の増加により、西条市は今後厳しい財政状況が見込まれています。

将来世代に過度な負担が残らないよう、「持続可能な西条市」の実現に向け、計画的な行財政運営を行っていく必要があります。

自分の暮らすまちの財政が健全に運営されているかどうかは、市民のみなさんの生活に大きな影響を及ぼす重要なものです。

しかし、財政というと専門的な用語が多く、市民のみなさんにとって親しみのないものになっているかもしれません。この冊子を通じて、西条市の財政状況をわかりやすくお伝えし、一人でも多くのみなさんに興味を持っていただければ幸いです。

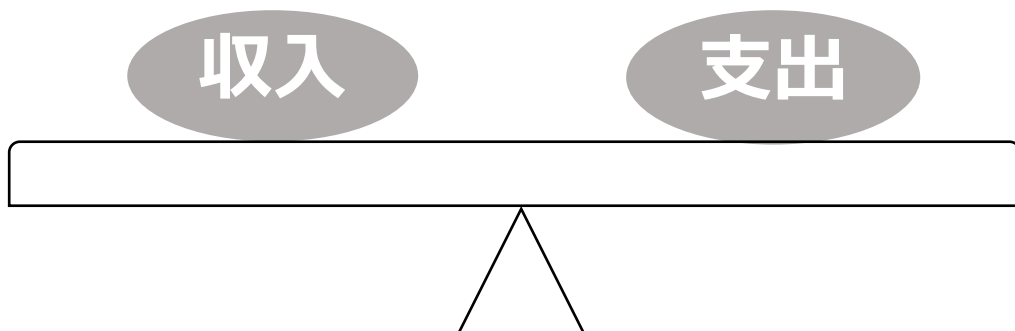


西山興隆寺にて撮影

1：「財政」ってなに？

市のお金の収入と支出の仕組み

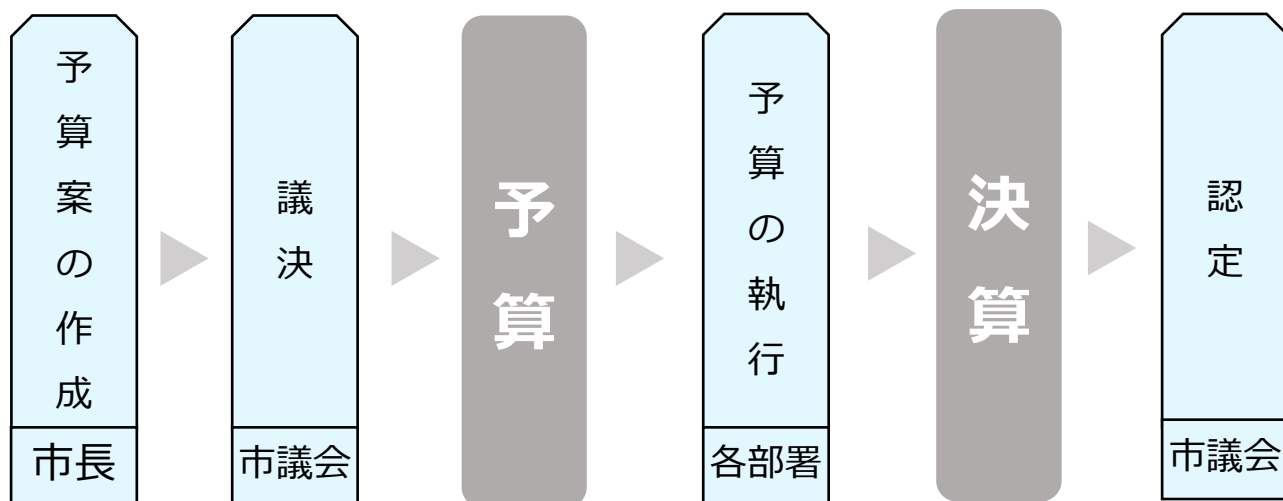
- ・市が様々な行政サービス（事業）を行うためには多くのお金が必要です。
- ・そのお金をどこから調達し（収入）、どのような目的で使うのか（支出）という仕組みを「財政」といいます。



2：予算と決算の違いはなに？

収入と支出の見込みが「予算」、予算を使った結果が「決算」

- ・毎年4月から翌年の3月までの一年を年度として、収入と支出を取りまとめたものが「予算」です。
- ・年度当初に一年間を見通して作成した予算を当初予算といい、新たに必要な費用が生じた場合などに追加等を行う予算を補正予算といいます。
- ・市長は「予算案」を作成して市議会に提出し、市議会で審議された後、議決され「予算」が成立します。
- ・予算を使った後の結果を「決算」といいます。
- ・決算は、監査委員の審査を受けたのち、市議会の審査、認定を受けます。

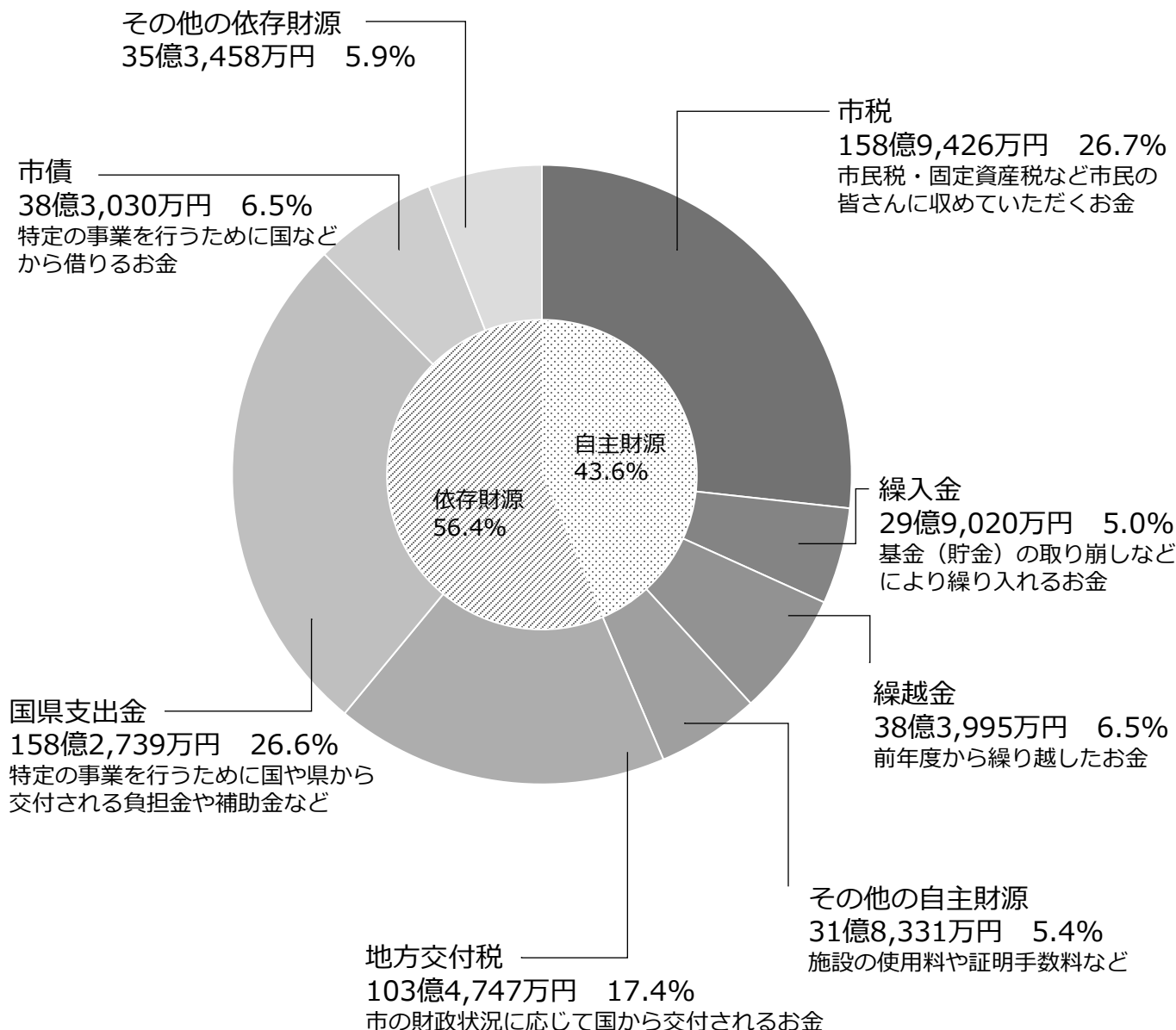


これから、令和4年度の普通会計の決算をもとに、
西条市の財政について一緒にみていきましょう

3：歳入（収入）

令和4年度の普通会計（※1）の歳入は**594億4,746万円**です。

令和4年度は、令和3年度と比べて
17億8,551万円増加しました。
基金（貯金）の取り崩しが増加した
ことなどが主な要因です。



（※1）普通会計とは

西条市の場合は、一般会計（福祉や土木、教育、消防など市の基本的な仕事をする会計）に、ひうち地域振興整備事業特別会計、土地開発事業特別会計、畑地かん水事業特別会計を合わせたものです。

4：歳出（支出） 性質別

令和4年度の普通会計の歳出は**552億5,306万円**です。

令和4年度は、道前クリーンセンターの整備や
小学校施設の長寿命化などを実施したり、
新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰
などへの対応を引き続き実施したことから、

令和3年度と比べて
14億3,106万円増加しました。

普通建設事業費

80億669万円 14.5%
道路や公園、学校などの公共
施設の整備のために使うお金

特別会計、企業会計
について、5ページで
説明しています。

繰出金

47億6,382万円 8.6%
一般会計から、**特別会計**へ支出
するお金

投資及び出資金、貸付金

11億8,483万円 2.1%
財団法人や**企業会計**などに
対する出資金や、資金の貸し
付けに使うお金

積立金

27億7,919万円 5.0%
基金（貯金）に積み立てる
お金

補助費等

46億5,711万円 8.4%
さまざまな団体への負担金、補助金や
謝金・謝礼などのために使うお金
（**企業会計**に対する負担金、補助金も含む）

物件費・維持補修費

76億3,611万円 13.9%
物件費は、旅費、需用費（消耗品費や光熱水費等）、委託料などに使うお金
維持補修費は、市が管理する公共施設などを維持するために使うお金

災害復旧費

2,995万円 0.1%
災害によって道路や農地、山林などに生じた
被害を復旧するために使うお金

人件費

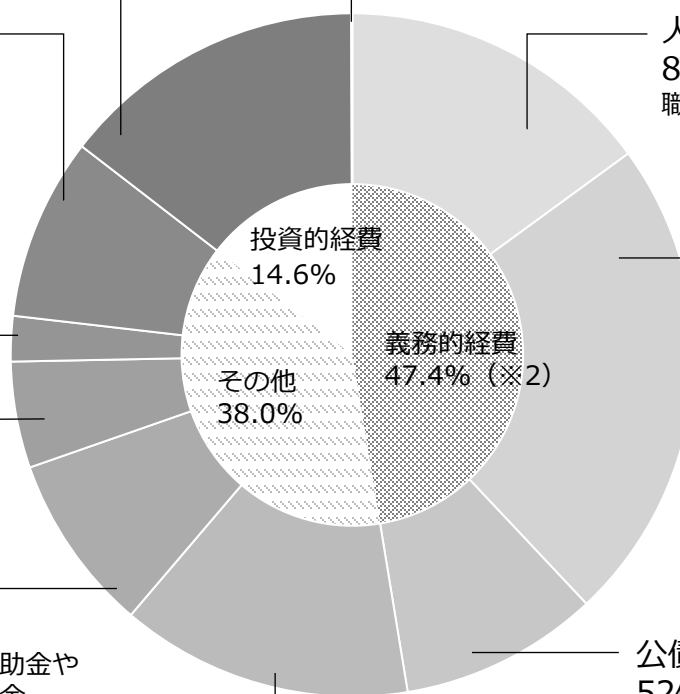
82億6,792万円 15.0%
職員の給与などに使うお金

扶助費

127億2,119万円 23.0%
高齢者、子ども、障がい者、
生活困窮者などを支援する
ために使うお金

公債費

52億625万円 9.4%
国などから借り入れた借金の
返済に使うお金



(※2) 義務的経費とは

行政サービスを実施する上で、**簡単に削減することが難しい支出**のことです。義務的経費には、人件費、扶助費、公債費があります。

義務的経費の**割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなる**ため、まちづくりやその他の行政サービスを行うことが難しくなってきます。効率的な財政運営を心掛け経費を圧縮していくことや、市の財政規模に見合った事業を計画的に行っていくことが重要です。

特別会計や企業会計ってなに？

- ・国民健康保険税や介護保険料、下水道使用料など、特定の収入を特定の仕事に使っている事業は、お金の収支をわかりやすくするために会計（お財布）を分けています。
- ・西条市には一般会計（※3）の他に、**11の特別会計**と、**3の企業会計**があります。

特別会計

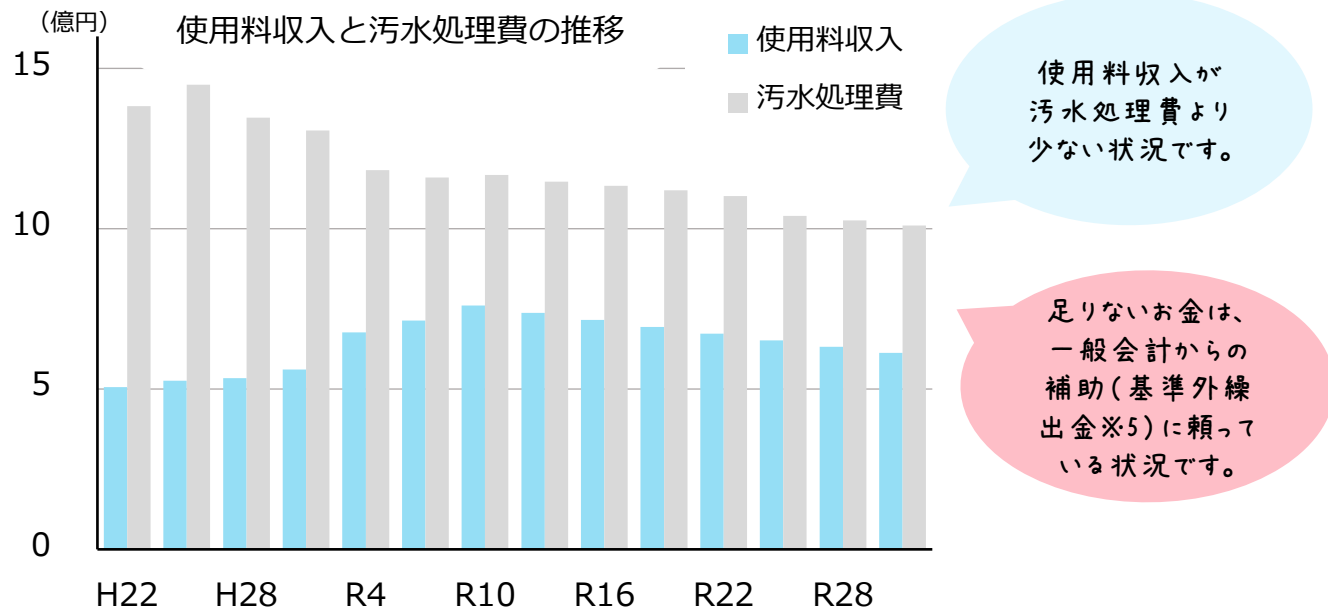
国民健康保険	介護保険	港湾上屋事業
ひうち地域振興整備事業	土地開発事業（※4）	小松地域交流事業
本谷温泉事業	畑地かん水事業	庄内財産区
壬生川財産区	後期高齢者医療保険	

企業会計

水道事業	公共下水道事業	病院事業
------	---------	------

- ・**企業会計**には、経営に必要な経費を経営に伴う収入でまかなうという、**独立採算制の原則**があります。
- ・しかし、特に下水道事業においては、これまで経営に必要な費用を下水道利用者からいただいている使用料だけではまかなうことができず、一般会計からの補助に頼ってきました。今後は、経費削減の継続や使用料の値上げなどにより、**一般会計からの補助に頼らない独立した健全な経営を目指していく**必要があります。

【公共下水道事業】



西条市HP 下水道業務課「西条市の下水道の現状のお知らせと今後について」より

- (※3) 一般会計は3ページで説明しています。
- (※4) 土地開発事業特別会計は、令和4年度末をもって一般会計に統合しています。
- (※5) 令和4年度は、公共下水道事業会計に対して、一般会計から**基準外繰出金**を**総額で約10億円**支出しています。
- ・**基準内繰出金** 国が示した**基準**により、一般会計から企業会計へ支出しているお金
 - ・**基準外繰出金** 国が示した**基準以外**で、一般会計から企業会計へ支出しているお金
- 一般会計から企業会計への支出が増大すると、一般会計の行政サービスにも影響が出る**ため、経費削減や使用料の見直しなどを行い、**経営に伴う収入でまかなっていく**必要があります。

5：歳出（支出） 目的別

支出は、**どのような行政サービスに使われているのか、使い道をわかりやすく**見ることもできます。

市のお金を何に使ったか、
多い順に並べています。

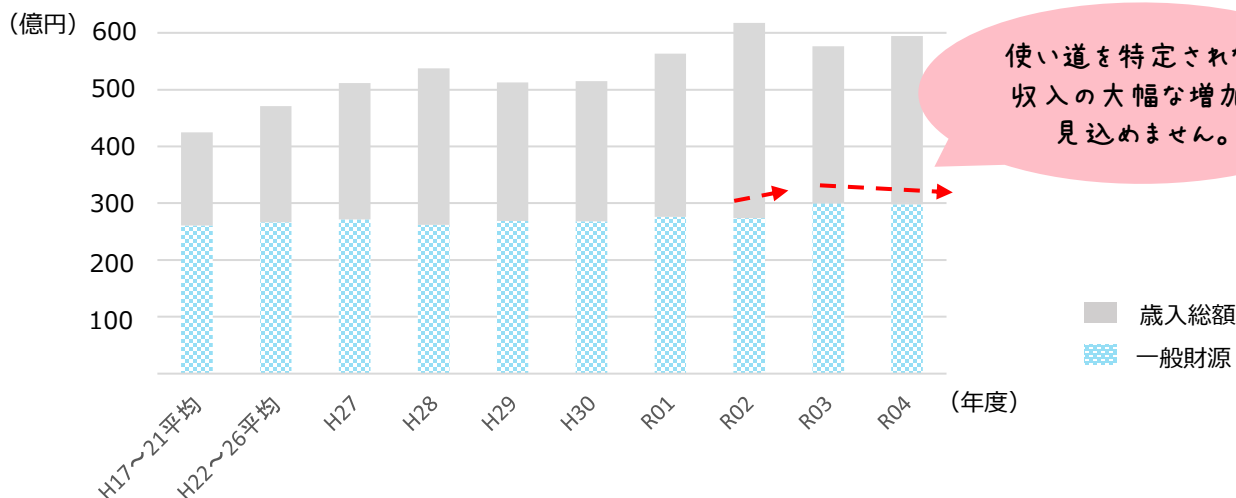
民生費	197億8,432万円	高齢者、子ども、障がい者の福祉や医療費助成など安定した社会生活を保障するために使うお金
総務費	76億3,655万円	市庁舎の維持管理や戸籍、徴税、選挙、監査事務などに使うお金
衛生費	72億3,473万円	予防接種などの保健事業やごみの収集・処理などの衛生的な生活環境を保つために使うお金
教育費	52億4,959万円	幼稚園、小・中学校の整備、社会教育、保健体育など教育全般に使うお金
公債費	52億625万円	借入金の返済に使うお金
土木費	42億9,563万円	道路や河川、市営住宅、公園などの整備や維持管理のために使うお金
商工費	19億1,961万円	商工業の振興や、観光施設の運営や整備などに使うお金
農林水産業費	18億3,925万円	農林水産業の振興や、かんがい排水路、ほ場整備などに使うお金
消防費	15億8,303万円	消防活動や消防施設の整備、地域の防災などのために使うお金
その他	5億410万円	

公債費が支出全体の
約9.4%を占めています。

6：これまでの推移をみてみよう

歳入

今後、人口減少により、一般財源(※6)(使い道を特定されない収入)の大幅な増加は見込めない



- ・歳入の総額は、増加しています。歳出の財源を確保するために、国県支出金(※7)や市債などが増加しているためです。
- ・しかし一般財源は、地方交付税(※8)の増加など国の財政措置により一時的に増加したものの、今後は人口減少により、大幅な増加は見込めません。使い道を特定されない収入が増えなければ、新しい事業を行うための財源が少なくなります。

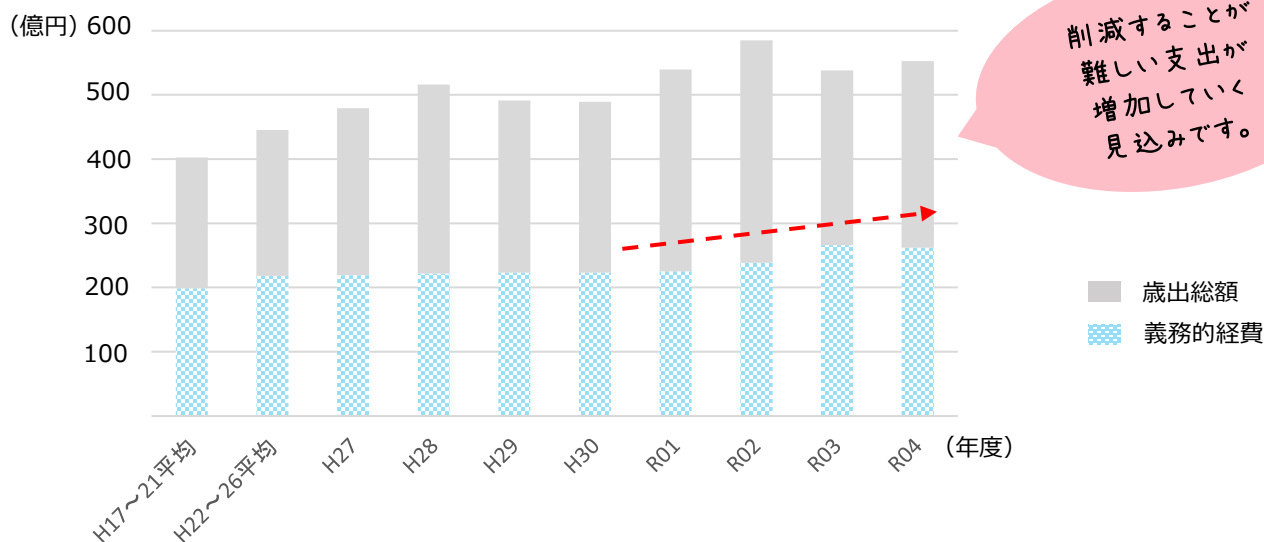
(※6) 一般財源とは、使い道を特定されない収入のことで、市税や地方交付税などです。

(※7) 国県支出金は3ページで説明しています。

(※8) 地方交付税は3ページで説明しています。

歳出

今後、扶助費(※9)(福祉の充実のために使うお金)や市債の返済額の増加などにより、義務的経費(※10)(簡単に削減することが難しい支出)が増加する見込み



- ・歳出の総額は増加しています。
- ・理由は、子育てや教育などの施策の充実や、道路や公園、学校などを積極的に整備してきたことなどが要因です。
- ・今後は、扶助費や市債の返済額の増加などにより、義務的経費が増加する見込みです。

(※9) 扶助費は4ページで説明しています。

(※10) 義務的経費は4ページで説明しています。

収支（歳入と歳出の差）

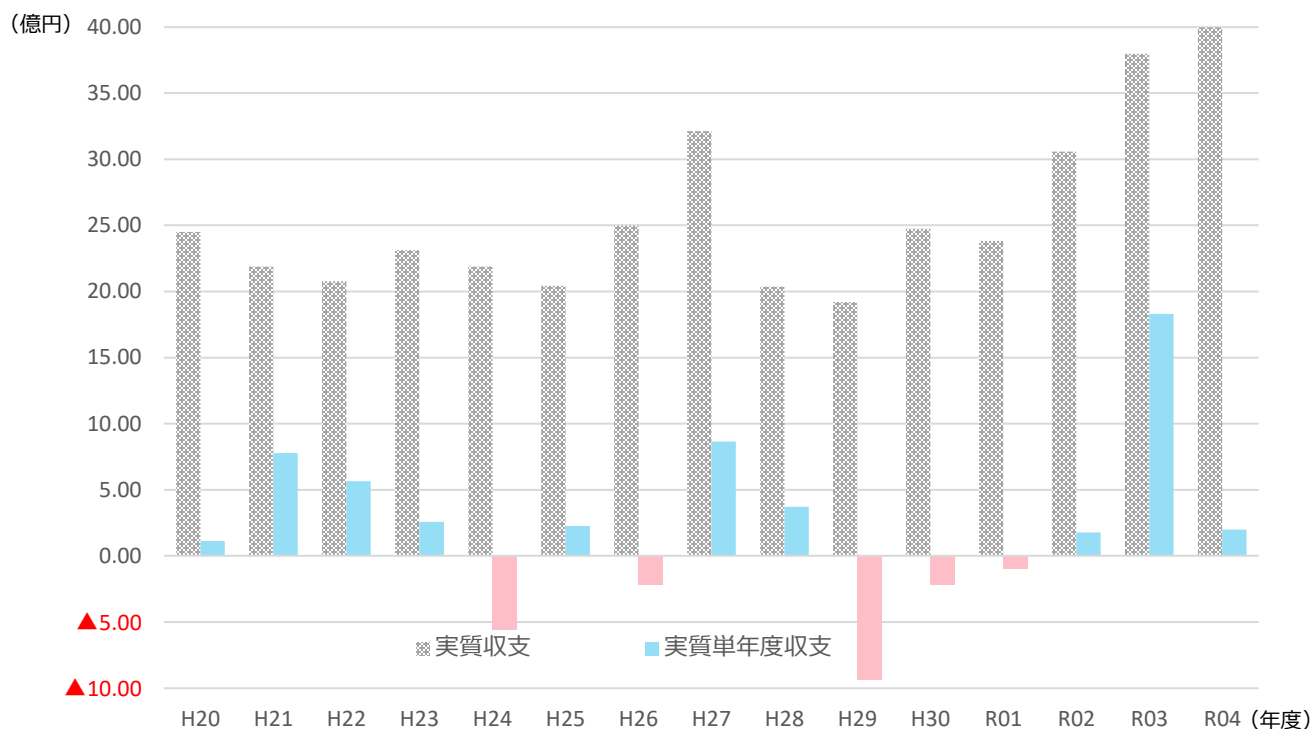
令和4年度は、実質収支も実質単年度収支も黒字

- ・歳入＞歳出なら黒字、歳入＜歳出なら赤字です。
- ・平成29年度から3年間は実質単年度収支が赤字となっていました。令和2年度以降は実質収支も実質単年度収支も黒字となっています。
- ・地方交付税の増加など国の財政措置により、一時的に歳入が増加したことに加え、事業の選択と集中などの「歳出改革」や、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、計画していた事業が縮小・中止となったことや受診控えによる医療費の減少などで、歳出が抑制されたためです。

歳入（収入）	—	歳出（支出）	—	翌年度に 繰り越すべき財源	=	令和4年度 実質収支
594億4,746万円		552億5,306万円		1億9,775万円		39億9,665万円

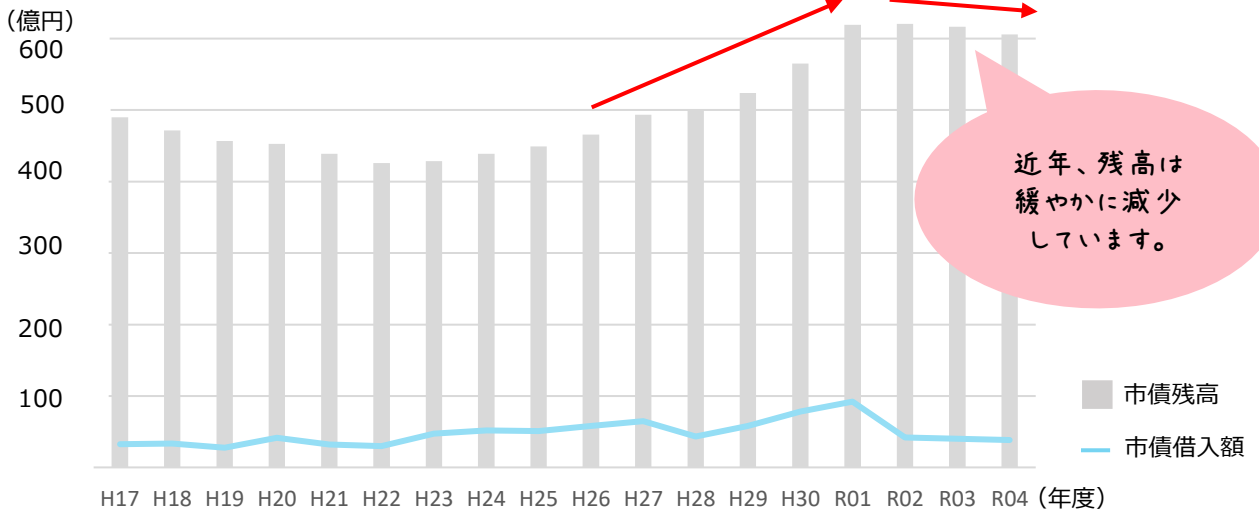
令和4年度 実質収支	—	令和3年度 実質収支	+	基金（貯金） 積み立て	—	基金（貯金） 取り崩し	=	令和4年度 実質単年度収支
39億9,665万円		37億9,839万円		21億157万円		21億円		1億9,983万円

収支の推移



市債（借金）

市の借金残高は減少も、高い水準が続く

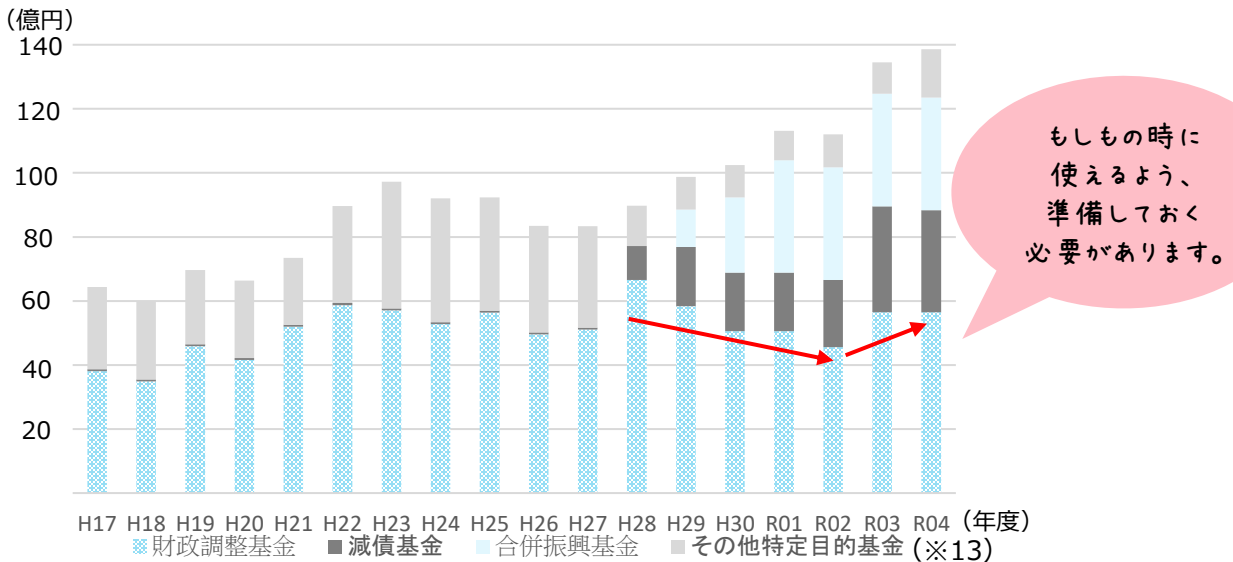


- ・市債は、施設整備などにおいて資金を調達する一つの手段で、世代間で負担を分散することができるとともに、借金ではあるものの返済の際に元利償還金（返済金）の一部が地方交付税（※11）で計算されるものもあり、全てが市の負担になるわけではありません。
- ・しかし、むやみに借金をすると、返済による義務的経費が増加するため、結果的に将来世代への負担を増やすことになります。

（※11） 地方交付税は3ページで説明しています。

基金（貯金）

財政調整基金(※12)(もしもの時に備える貯金)の確保が必要



- ・基金全体の残高は概ね増加傾向にあります。しかしその主な要因は、市債を借り入れて合併振興基金として約35億円を積み立てたため、現在、その返済を行っています。
- ・令和3年度及び令和4年度は、収支が改善したことなどにより積立を多くできたため、一定の目標水準を維持できていますが、災害などに備えて一定額を確保しておく必要があります。

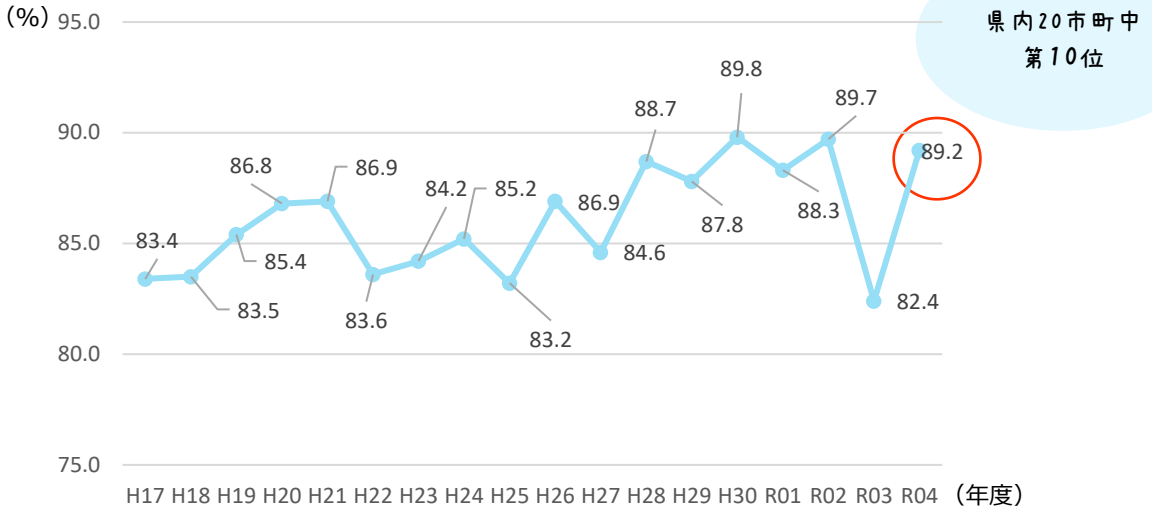
（※12） 財政調整基金 予期しない収入減や支出の増加に備えるため法律で設置が義務付けられています。
 （※13） 特定目的基金 使用目的に応じて設置しており、用途が限定されています。西条市では、減債基金、合併振興基金、福祉基金、森林整備基金などがあります。

経常収支比率

今後は増加(悪化)の見込み

市の財政状況を表す財政指標の一つです。

割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなります。



- 令和4年度は、借金の返済額が増加したことなどにより、増加(悪化)しました。今後は義務的経費(※14)の増加と一般財源(※15)の伸び悩みから、増加(悪化)する見込みです。
- 指数が増加し続けると、自由に使えるお金が少なくなるため、行政サービスにも支障が出てくる可能性があります。

(※14) 義務的経費は4ページで説明しています。

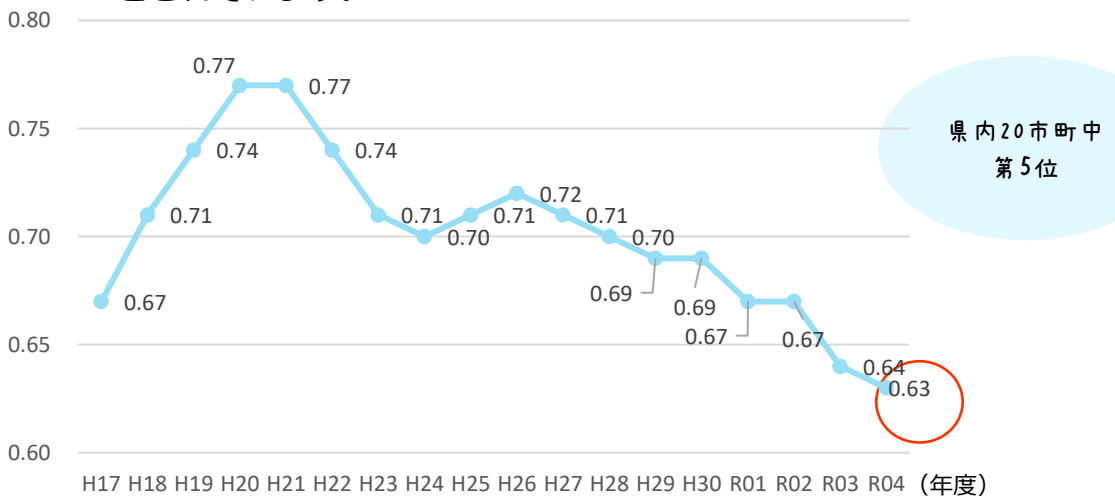
(※15) 一般財源は7ページで説明しています

財政力指数

今後は低下(悪化)の見込み

どのくらい自力で財源を調達できているかを表すものです。

「1.0」を超える、あるいは「1.0」に近くなるほど、財源に余裕があるとされています。



- 過去には0.7台後半の時期もありましたが、市債の返済などにともない低下(悪化)する見込みです。

各指標の県内における順位は、令和5年9月29日現在のものです。

財政健全化判断比率

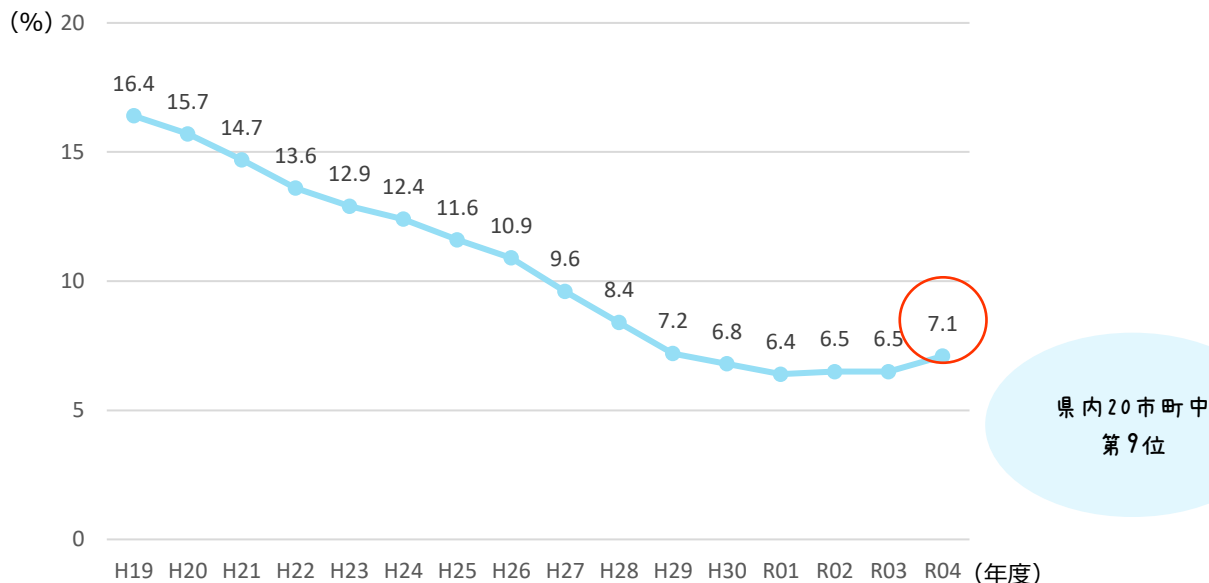
将来負担比率は減少(改善)の一方、実質公債費比率は増加(悪化)

財政の健全性を示す指標のことです。

実質公債費比率は、支出に占める借金の返済額の割合です。

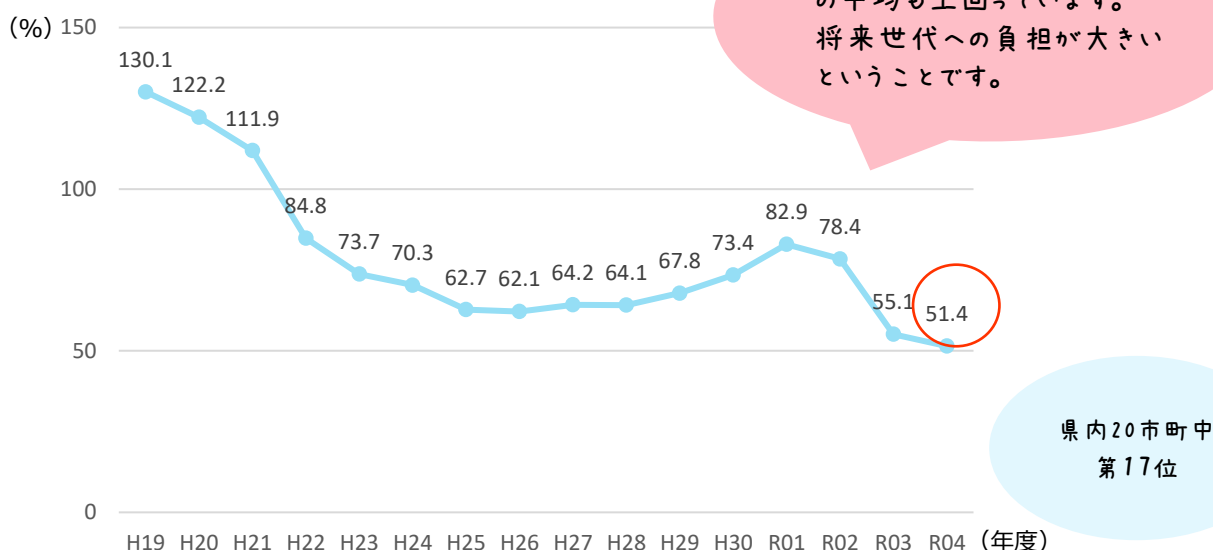
将来負担比率は、将来支払わなければならない負債の割合です。

実質公債費比率



- ・実質公債費比率について、減少(改善)傾向でしたが、令和2年度から増加(悪化)に転じています。
- ・市税などの一般財源の大幅な増加が見込めない一方、近年の大型事業の実施に伴い借り入れた市債により返済額が増加することから、今後も比率は増加(悪化)する見込みとなっています。

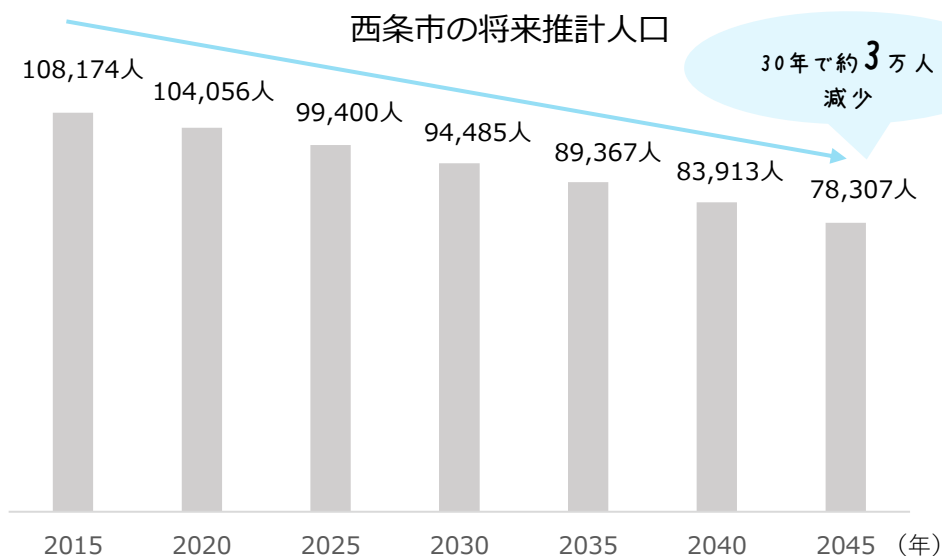
将来負担比率



- ・将来負担比率について、増加(悪化)傾向でしたが、令和2年度から減少(改善)に転じています。
- ・しかしながら、今後も大型施設の更新・整備が予定されていることから、市債の借り入れなどを抑制し、将来の負担を軽減していく必要があります。

7：人口減少と一般財源

人口減少により市税収入が減少



- ・「第2期西条市総合計画 後期基本計画」（令和2年度～令和6年度）における人口推計では、22年後の2045年（令和27年）に7.8万人まで**減少すると予測**されています。
- ・**財政面からみると**、納税義務者等が減少するため**市税が減少**することになります。
- ・また、地方交付税（※16）等についても人口規模により算定される割合が大きいいため、その結果、一般財源の大幅な増加は見込めない状況です。

（※16） 地方交付税は3ページで説明しています。

人口減少により、
今後、一般財源（使い
道を特定されない収入）
の増加は見込めません。

扶助費（福祉の充実のために
使うお金）や市債の返済額の
増加などにより、削減すること
が難しい支出の割合が、今後
増える見込みです。

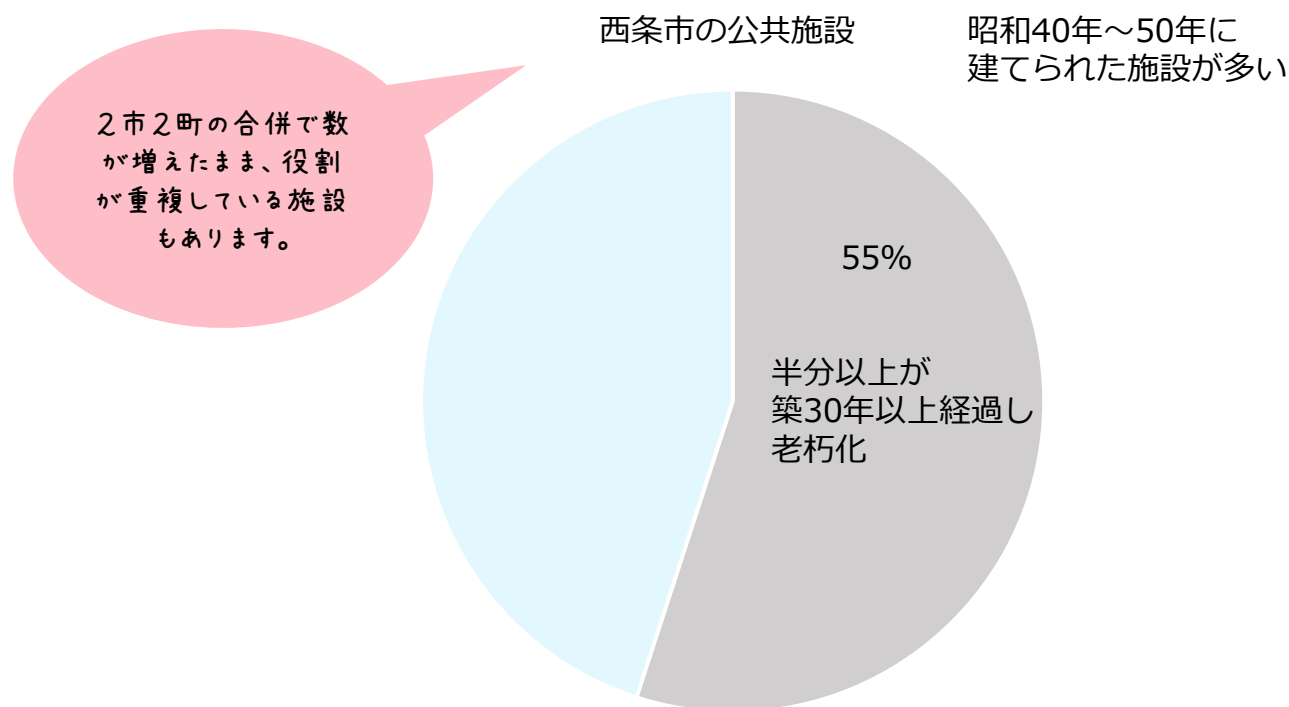
原油価格・物価高騰等によ
り、電気代や燃料費、物品
や資材価格などが上昇してい
るため、財政負担が増加する
見込みです。

入ってくるお金は増えないの
に、たくさんのお金が必要な
事業が予定されています。

8：公共施設の現状と今後控えている大規模事業について

老朽化した公共施設の更新・整備にお金がかかる

- ・「西条市公共施設等総合管理計画」（令和5年3月改訂）によると、西条市の**公共施設の量（延床面積）**は、**全国と同規模自治体の1.6倍**もあります。
- ・さらに築30年以上の建物が全体の55%を占めており、**老朽化**が進んでいます。



- ・さらに、「西条市公共施設等総合管理計画」によると、今後、公共施設を同じ数、同じ量で、すべてを建替えて維持する場合、40年間で2,327億円の財政負担が生じると推計されています。

普通建設事業費（土木費を除く）の直近10年間平均は**34.6億円**

公共施設の更新には、
今後40年（2017～2056年）で**2,327億円**

→年平均**58.2億円**必要

直近10年間の平均
34.6億円と比較して
1.7倍

平成29年策定時点



「公共施設マネジメント」に取り組み、公共施設を適正な規模に減らすことで、将来の負担を軽減・平準化していく必要があります。

これまで実施してきた大型の施設整備事業

項目	(2005) H17	(2006) H18	(2007) H19	(2008) H20	(2009) H21	(2010) H22	(2011) H23	(2012) H24	(2013) H25	(2014) H26	(2015) H27	(2016) H28	(2017) H29	(2018) H30	(2019) R01	(2020) R02	(2021) R03	(2022) R04	
庁舎整備							43.8億円												
ひうちクリーンセンター整備													38.5億円						
東部一般廃棄物最終処分場整備	21.3億円																		
東予運動公園整備	20.3億円																		
新泉町団地整備												17.2億円							
西消防署庁舎建設	10.4億円																		
小中学校・幼稚園空調設備整備													15.9億円						
小中学校大規模改修等		44.2億円														飯岡小学校			
																神拝小学校			
																丹原小学校			
中学校屋内運動場等整備											25.0億円								
新図書館整備	31.5億円																		

普通建設事業費（※17）から、総事業費10億円以上の主な事業を抜粋しています。
継続中の事業は、令和4年度決算までを含みます。

（※17）普通建設事業費は4ページで説明しています。



庁舎整備



ひうちクリーンセンター整備



東部一般廃棄物
最終処分場整備



東予運動公園整備



新泉町団地整備



西消防署庁舎建設



小中学校・幼稚園
空調設備整備



中学校屋内運動場等整備



飯岡小学校



神拝小学校



丹原小学校

小中学校大規模改修等



新図書館整備

今後見込まれる大型の施設整備事業

項目	(2019) R01	(2020) R02	(2021) R03	(2022) R04	(2023) R05	(2024) R06	(2025) R07	(2026) R08	(2027) R09	(2028) R10	(2029) R11	(2030) R12	(2031) R13以降
道前クリーンセンター基幹改良	総事業費：約68億円												R17には新たな施設が必要
小中学校長寿命化			大町小：約9.3億円		長寿命化実施計画に基づきR41年度まで 単年度平均18.4億円で整備 (R01～R41総事業費：約735.7億円)								
			小松小：約11.5億円										
(仮称) 東部給食センター整備			R22年度まで 総事業費：約63.4億円（運営費を含む）										
火葬場（やすらぎ苑）改修更新				総事業費：約7.6億円									



道前クリーンセンター



(仮称) 東部給食センター
建設予定地



やすらぎ苑



大町小学校



小松小学校

公共施設を適正な規模にする公共施設マネジメントを推進しつつ、市民生活に必要な施設の更新・整備も行っていく必要があります。

- ・合併特例債（事業費の95%まで借入れができ、返済額の70%を国が負担する有利な財源）の発行期限が、令和6年度までとなっています。
- ・西条市では、終了期間を見据え計画的に施設整備等を行ってきましたが、公共施設の老朽化等により、令和7年度以降も大型の施設整備事業が予定されています。

- ➡
- ・いずれの施設も事業費が大きく、**財源の確保が課題**です。
 - ・中長期的な視野に立って、事務事業の見直しを進めるとともに、使用料・手数料の更なる見直しや財産の運用・処分など、新たな財源の確保策を検討し、計画的に基金（貯金）として蓄えておくことが必要です。

9：持続可能な西条市を目指して

将来へ課題を先送りしないために、取り組んでいきます

- ・西条市はこれまでも、事業のスクラップ＆ビルドの推進や、市主催イベントの見直し、総合支所の再編など、歳出改革を進める対策を行ってきましたが、今後も西条市の財政は引き続き非常に厳しい状況が見込まれています。

人口減少により、一般財源（使い道を特定されない収入）の大幅な増加は見込めません。→p7,12

扶助費（福祉の充実のために使うお金）や市債の返済額の増加などにより、義務的経費（削減することが難しい支出）の割合が増加する見込みです。→p7

原油価格・物価高騰等により、光熱費や資材価格などが上昇しているため、財政負担が増加する見込みです。→p12

公共施設の老朽化等により、今後も、大型の施設整備事業が予定されています。→p13～15



将来へ課題を積み残さないために、取り組むことは・・・

1,持続可能な財政規模への転換

- ・市債や基金の取り崩しに依存しない、歳入水準に見合った歳出構造へ転換します。

2,公共施設の再編整備とサービスの向上

- ・多くの公共施設で老朽化が進み、更新時期を迎えています。しかし、今ある施設をすべて同じ形で残していくことはできません。なぜなら財政負担に加え、用途が重複する公共施設も複数あるためです。
- ・公共施設の再編整備を行い、建築物は縮減するものの機能やサービスの向上を図る「縮充」（※18）の発想で見直します。

3,財源の確保

- ・使用料や手数料の見直しを行ったり、計画的に基金を積み立てるなど、大規模事業に向けた財源の確保を検討していきます。

（※18）縮充とは、規模は縮小しても機能は充実するという造語です。

【参考】より健全な財政に近づけるために、財政計画を毎年見直しています

- ・令和元年12月に再改定した新市建設計画（合併後の新市を建設していくための基本方針）では、令和6年度までの財政計画を定め、事業の推進にあたっています。
- ・財政計画については、ローリング方式（毎年見直すこと）により決算状況を受けて修正を行い、進捗を確認することで事業の推進に活用しています。
- ・今回、令和4年度決算を受けて下記のとおり修正を行いました。

＜新市建設計画＞

(単位：百万円)

区分	H17～21平均	H22～26平均	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
令和元年12月再改定時の計画額											46,434	44,129

実績

計画

＜歳入 修正後＞

(単位：百万円)

区分	H17～21平均	H22～26平均	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
◆市税	16,117	15,988	15,512	15,429	15,801	15,777	16,212	15,796	15,834	15,894	16,065	15,730
◆譲与税等	2,240	1,699	2,705	2,418	2,564	2,636	2,677	3,086	3,635	3,524	3,455	3,642
◆地方交付税	7,720	8,944	8,952	8,367	8,493	8,409	8,732	8,461	10,489	10,348	10,387	9,735
国県支出金	6,809	9,153	9,560	11,786	10,457	9,948	11,634	23,200	15,795	15,828	11,661	12,633
市債	3,217	4,764	6,501	4,329	5,852	7,825	9,199	4,182	4,022	3,830	2,388	7,270
その他	6,388	6,574	7,953	11,412	8,080	6,909	7,908	7,006	7,887	10,023	7,902	3,219
計 A	42,491	47,122	51,183	53,741	51,247	51,504	56,362	61,731	57,662	59,447	51,858	52,229
◆主要な一般財源計	26,077	26,631	27,169	26,214	26,858	26,822	27,621	27,343	29,958	29,766	29,907	29,107

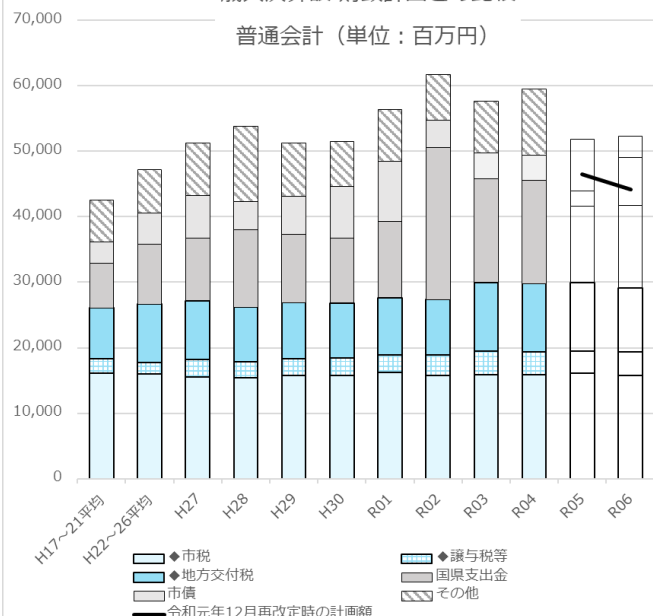
＜歳出・性質別 修正後＞

(単位：百万円)

区分	H17～21平均	H22～26平均	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06
◆人件費	8,446	7,959	7,656	7,589	7,470	7,752	7,384	8,506	8,294	8,268	8,386	9,121
◆扶助費	6,297	8,916	9,923	10,574	10,784	10,436	10,977	10,916	13,492	12,721	11,227	11,378
◆公債費	5,124	4,918	4,310	4,013	4,050	4,136	4,126	4,418	4,780	5,206	5,263	5,211
補助費等	2,608	2,202	2,273	2,423	2,692	2,406	3,332	15,330	5,063	4,657	4,693	3,663
物件費	4,688	5,024	5,306	5,506	5,513	5,615	6,035	5,834	6,754	7,002	6,064	5,674
繰出金	5,213	5,532	6,729	6,244	6,139	6,269	6,258	4,822	4,777	4,764	5,070	5,278
投資的経費	5,473	7,290	7,630	10,143	8,479	8,762	11,378	5,574	5,217	8,037	6,646	10,106
その他	2,380	2,711	4,110	5,115	4,007	3,559	4,446	3,097	5,445	4,598	4,509	1,798
計 B	40,229	44,552	47,937	51,607	49,134	48,935	53,936	58,497	53,822	55,253	51,858	52,229
◆義務的経費計	19,867	21,793	21,889	22,176	22,304	22,324	22,487	23,840	26,566	26,195	24,876	25,710

歳入決算額 財政計画との比較

普通会計 (単位：百万円)



性質別歳出決算額 財政計画との比較

普通会計 (単位：百万円)

